

サンデーサイエンス

コケのテラリウムをつくろう

担当：植物研究室

1 内容

さまざまなコケを野外で観察・採集して、葉の形や分枝の仕方が種によって違うことを学び、コケの形態の多様性を実感する。それをさらにガラスビンの中に寄せ植えにすることで、コケ植物を身近に感じてもらうとともに、学習の定着を図る。

【コケ】

陸上植物の中で、胞子で増え、維管束（道管や師管）を持たないグループ。世界に約1万8000種、日本に約1700種が存在する。蘚類（スギゴケのなかま）、苔類（ゼニゴケのなかま）、ツノゴケ類の3つに分かれる。テラリウムには蘚類が適しているが、苔類やツノゴケ類を用いても良い。

2 準備物

数種のコケ、ガラスびん、小さな器（リング状のものや、ペットボトルのふた等でも可）、ピンセット、霧吹き

くあると良いもの>

ルーペ、動物や恐竜のシール、コケの種名を印字した名札（水にぬれても変形しないプラスチック等の素材がよい）



3 手順

- (1) 野外でコケを採集する。
- (2) ひっくり返したびんのふたの上に、小さな器を置く。
- (3) ピンセットを使って器の中にコケを植え、名札や恐竜シールなどで飾りつけする。
- (4) コケが乾いているときは、霧吹きで1～2回水をかける。(湿りすぎるとカビが生えやすくなるので、かけすぎないこと)
- (5) ビんの本体を逆さにして、コケを植えたふたの上にそっとかぶせる。
- (6) ふたをしっかりと閉める。



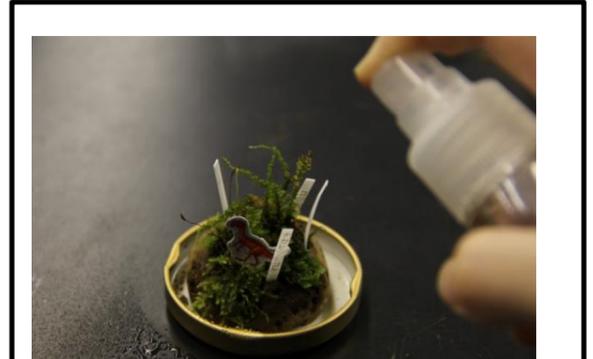
野外でコケを採集する



ふたの上に小さな器を置く



ピンセットでコケや飾りのシールなどをレイアウトする



乾いている時は霧吹き等で少量の水をかける



びんの本体をかぶせ、しっかりと閉める



完成

4 注意点

- ・完成したテラリウムは直射日光の当たらない、明るい場所に置くとよい。
- ・コケの葉が縮れる時は乾燥している状態なので、水を足す。
- ・びんの内側が曇っているときは、ふたを緩めて乾燥させて、再度ふたを閉める。

5 参考資料

このは No. 7 コケに誘われコケ入門. 文一総合出版.

第57回企画展「こけティッシュ 苔ワールド！」展示解説書. ミュージアムパーク茨城県自然博物館.